



ケイツーシロップの投与方法について

ケイツーシロップとは、ビタミンK欠乏性出血症を予防するための薬剤です。生まれたばかりの赤ちゃんは、ビタミンKを作る腸内細菌が少ないため出血が起こった場合に重症化しやすいので、ビタミンKを補う必要があります。

当院では、これまで3回投与を行っていましたが、新しいガイドラインでは、生後3か月までにケイツーシロップを13回投与する方法が推奨されています。そのため、当院におきましても令和4年10月1日以降に生まれた赤ちゃんからケイツーシロップを13回投与に変更いたします。

退院後、ご自宅でも週に1回飲ませていただきます。飲ませ方については、退院前に当院スタッフが投与スケジュールと一緒にご説明させていただきます。

何かご不明な点がございましたら、遠慮なくスタッフまでご相談ください。

